

令和6年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河中央中学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語、数学の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	58.1%				○	
数学	52.5%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	59.2%					○
情報の扱い方に関する事項	59.6%				○	
我が国の言語文化に関する事項	75.6%			○		
話すこと・聞くこと	58.8%					○
書くこと	65.3%				○	
読むこと	47.9%		○			

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」の領域は全国平均を上回りました。授業では、相手に分かりやすく伝えること、話をしっかりと聞くこと、多くの意見を参考に自分の考えを練り直す等の活動を行ってきました。今後は、さらに活用力が伸ばせるように、多様な言語活動を通して、既習事項を適切に用いて課題を解決に導く力を育てていきます。
- 「読むこと」の領域では、全国平均をやや下回りました。文章の要旨を正確に捉える活動の充実を図り、自信をもって適切な表現ができる力を育てていきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	51.1%	○				
図形	40.3%	○				
関数	60.7%	○				
データの活用	55.5%	○				

【考察】

- 「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の領域ともに、全国平均を下回りました。特に、問題文から数学的な視点で物事をとらえたり、数学的な表現を用いて表わしたりすることに課題があります。授業の中で、問題から必要なことをとらえさせたり、自分自身の考えを伝える機会を設けたりして、数学的な視点に慣れることができるよう工夫していきます。
- 根拠や対象が不明瞭で記述が十分でない解答が多いため、学んだ内容を活用して表現する活動や説明し伝え合う活動において、押さえるべきポイントを繰り返し確認し、数学的に表現する力を高めていきます。